

55t
あきんど
攻める商人！ 繋がる商人！

●第150回(平成28年度第3回)●

中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成28年10月～12月・報告

平成29年 1月～ 3月・予想



次の100年も
・・・ここに商工会

栃木県商工会連合会

目次

	頁
1. 栃木県産業全体の景況概要	3
栃木県と全国の業況D I 推移を比較・・・図1	
県内産業別の業況D I 推移を比較・・・図2	
2. 製造業の景況	4
主要景況項目の推移	・・・図3
売上額(加工高)の状況	・・・図4
採算(経常利益)の状況	・・・図5
設備投資の状況	・・・図6
経営上の問題点の状況	・・・図7
3. 建設業の景況	7
主要景況項目の推移	・・・図8
売上額(完成工事高)の状況	・・・図9
採算(経常利益)の状況	・・・図10
設備投資の状況	・・・図11
経営上の問題点の状況	・・・図12
4. 小売業の景況	10
主要景況項目の推移	・・・図13
売上額の状況	・・・図14
採算(経常利益)の状況	・・・図15
設備投資の状況	・・・図16
経営上の問題点の状況	・・・図17
5. サービス業の景況	13
主要景況項目の推移	・・・図18
売上額(収入高)の状況	・・・図19
採算(経常利益)の状況	・・・図20
設備投資の状況	・・・図21
経営上の問題点の状況	・・・図22
6. 調査対象事業所の内容	16

○D I 指数とは

本文中やグラフ中に登場するD I 値とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がり示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。

〔 調 査 要 領 〕

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況等や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

矢板市・上三川町・うつのみや市・芳賀町・壬生町
野木町・小山市美田・那珂川町・黒羽・湯津上

○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数：150企業（回答率100.0%）

○調査時点

平成28年11月15日

○調査対象期間

平成28年10月～12月期の実績及び、平成29年1月～3月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

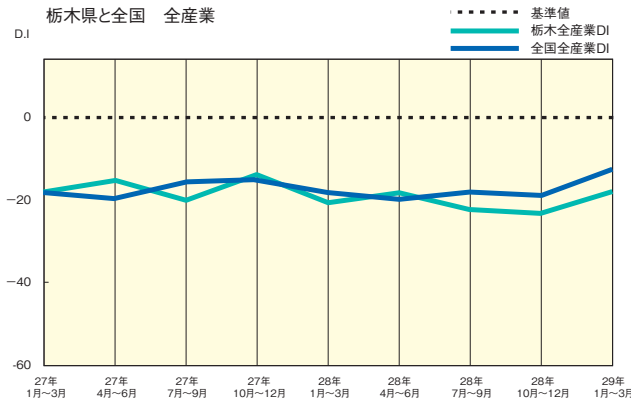
○回答企業数内訳

産 業	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	32	21.3
建 設 業	19	12.7
小 売 業	37	24.6
サ ー ビ ス 業	62	41.4
合 計	150	100.0

1. 栃木県産業全体の景況概要

〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「全国・県内とも前期と同水準、来期は小幅ながら改善を予想」
(前期比) 図 1



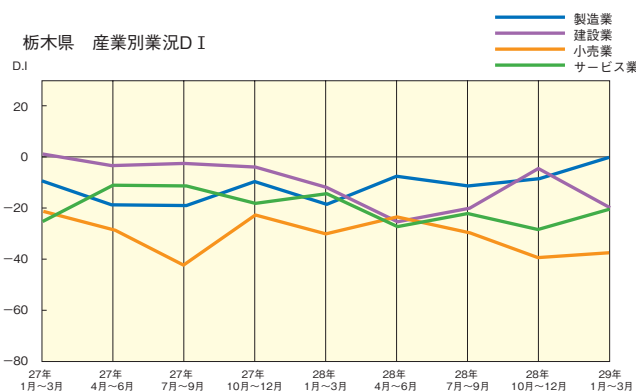
今期の業況を全国で見ると、D I 値は前期比0.5ポイント（-18.2ポイント→-18.7ポイント）低下したが、来期の見通しでは+5.7ポイントの改善を予想している。

栃木県内の業況D I は、-0.2ポイント（-21.8ポイント→-22.0ポイント）と前期水準を維持し、来期は、+4.8ポイント（-22.0ポイント→-17.2ポイント）の上昇を見込み、全国・県内とも来期は、小幅ながら改善すると予想している。

※全国業況D I は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D I は、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。それぞれの調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「建設業は今期・来期で大幅な変動を示す」
(前期比) 図 2



「建設業」が前期比+17.4ポイント（-21.5ポイント→-4.1ポイント）、「製造業」が+1.7ポイント（-12.1ポイント→-10.4ポイント）と、改善を示したが、「小売業」、「サービス業」については、悪化となった。

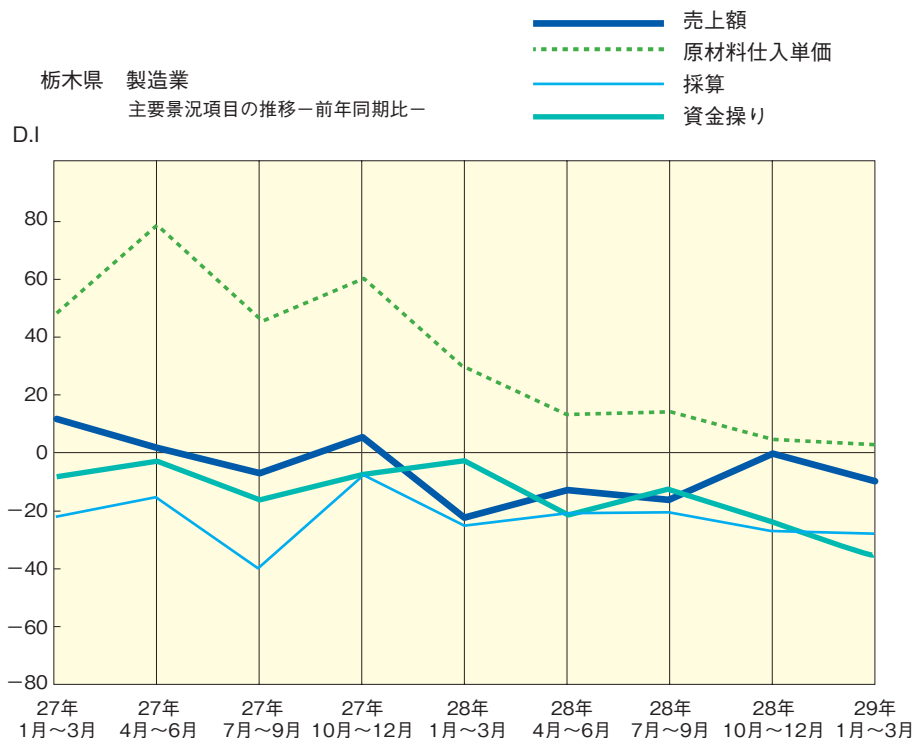
来期は「製造業」、「小売業」、「サービス業」で小幅な改善を見込んでいるが、「建設業」が-15.8ポイント（-4.1ポイント→-19.9ポイント）と、一転して大幅な悪化予想となっている。

2. 製造業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額が大幅に改善するも、来期は売上額・資金繰りで悪化を予想」

製造業 主要項目の推移（前年同期比） 図3



今期は、前期に比べて「売上額」が16.6ポイント（-16.6ポイント→0.0ポイント）の大幅な改善となった。

「採算」は6.7ポイント（-20.0ポイント→-26.7ポイント）悪化し、「資金繰り」は9.6ポイント（-13.8ポイント→-23.4ポイント）の悪化となった。

しかしながら、来期は「売上額」が-10.0ポイント（0.0ポイント→-10.0ポイント）、「資金繰り」は-11.1ポイント（-23.4ポイント→-34.5ポイント）と悪化を予想し、「採算」は、今期を維持すると見込んでいる。

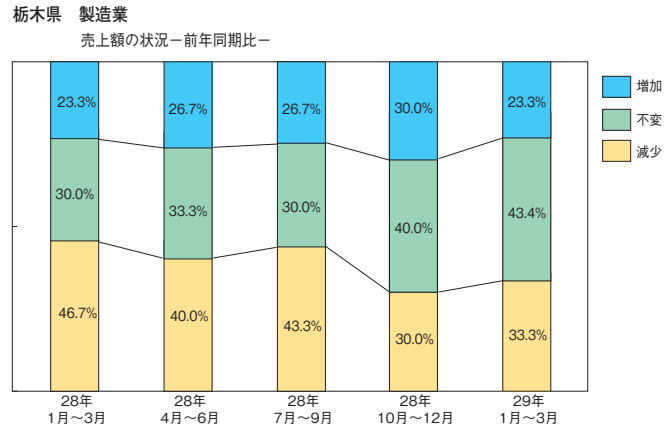
また、「原材料仕入単価」は、8.1ポイント（12.0ポイント→3.9ポイント）マイナスを見込み、低下傾向が続くと予想している。

－売上額(加工高)－

今期D I 値の内訳は、増加企業が3.3%(26.7%→30.0%)増加し、減少企業が13.3%(43.3%→30.0%)減少したため、D I 値は0.0ポイントとなり、前期と比べ16.6ポイントの改善となった。

来期の見通しは、売上増加と予想する企業が6.7%(30.0%→23.3%)減少し、減少と予想する企業が3.3%(30.0%→33.3%)増加するため、D I 値は-10.0ポイントと悪化を予想している。

売上額(加工高)の状況(前年同期比) 図4

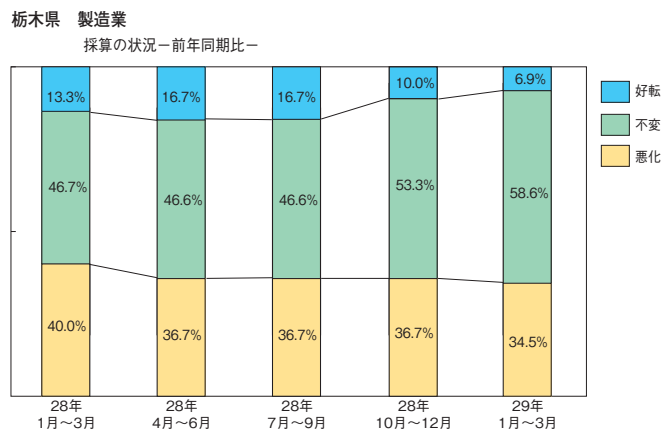


－採算(経常利益)－

今期D I 値の内訳は、好転企業が6.7ポイント(16.7%→10.0%)減少し、不変企業が6.7%(46.6%→53.3%)増加するため、D I 値は-26.7ポイントとなった。

また、来期の見通しは、好転を予想する企業が3.1%減少し、悪化を予想する企業が2.2%減少するため、D I 値は-27.6ポイントになると予想している。

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図5

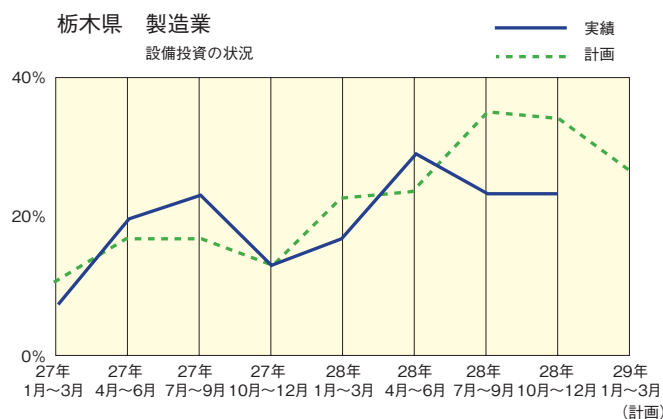


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図 6

今期の設備投資の実績状況は、計画していた企業割合が33.3%に対し、実績は23.3%と計画を大幅に下回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は今期よりも6.6% (33.3%→26.7%) 減少している。

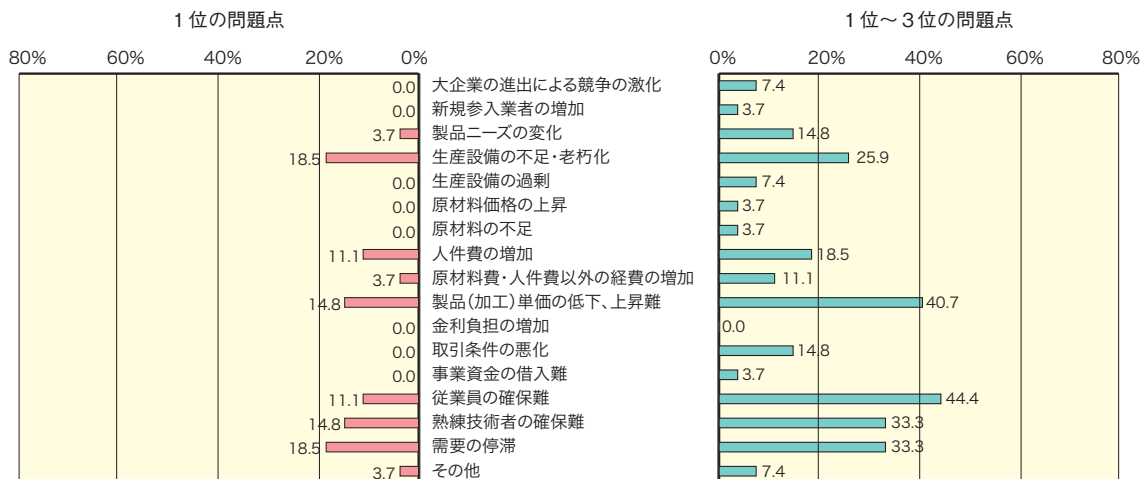


－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図 7

栃木県 製造業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



1位の問題点を見ると、「生産設備の不足・老朽化」、「需要の停滞」が共に(18.5%)最も多く、次いで「製品(加工)単価の低下、上昇難」「熟練技術者の確保難」が共に(14.8%)挙げられている。

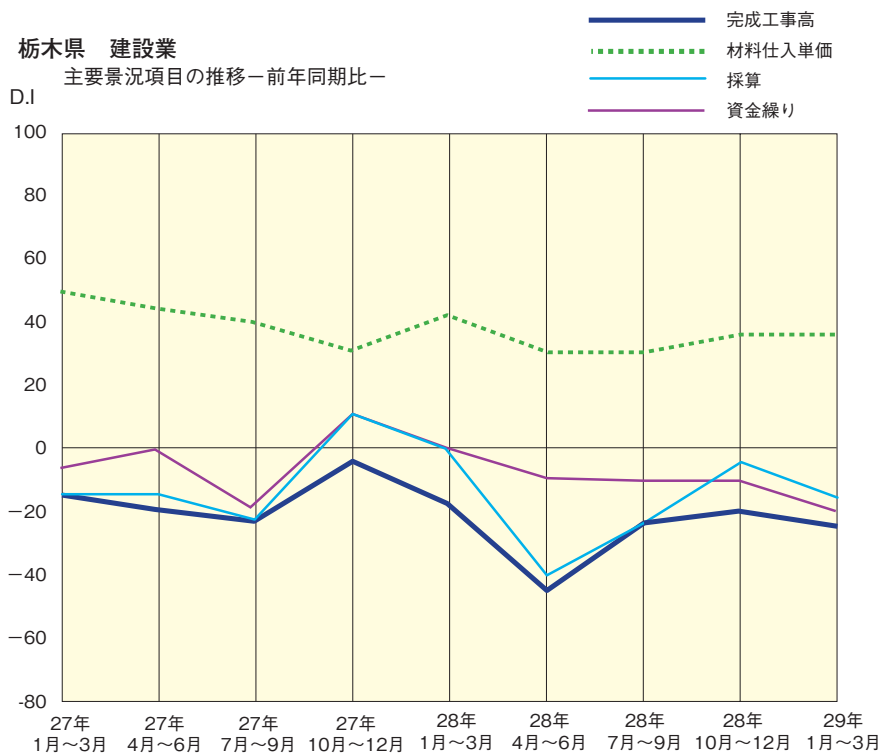
1位～3位の問題点では、前述に加えて「従業員の確保難」(44.4%)を挙げており、課題が多いことを示した。

3. 建設業の景況

－主要景況項目の推移－

「採算が大幅に回復するも、来期は全体として悪化を予想」

建設業 主要項目の推移（前年同期比） 図8



「売上額（完成工事高）」は前期比5.0ポイント（-25.0ポイント→-20.0ポイント）の増加、「採算」は、前期比20.0ポイント（-25.0ポイント→-5.0ポイント）の大幅な回復となった。

「材料仕入単価」は前期比5.0ポイント（30.0ポイント→35.0ポイント）の上昇。

「資金繰り」は、前期を維持している。

来期の見通しは、「売上額（完成工事高）」は5.0ポイント（-20.0%→-25.0%）の悪化、「採算」、「資金繰り」については-10.0ポイントの大幅な悪化を予想しており、全体として厳しくなると見ている。

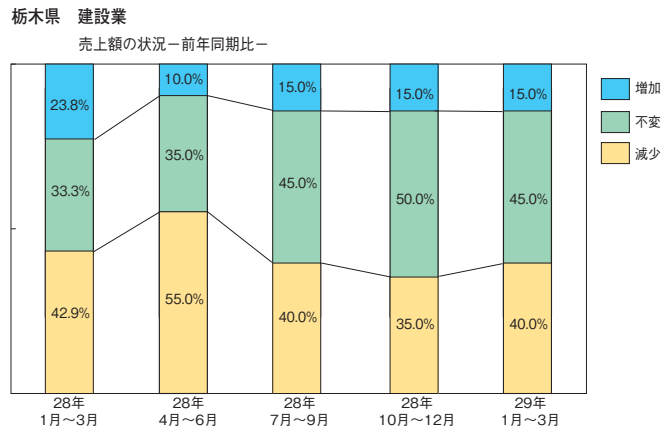
「材料仕入単価」については、今期と同水準を予想している。

—売上額(完成工事高)—

売上額(完成工事高)の状況(前年同期比) 図9

今期D I 値の内訳を見ると、不変企業が5.0%(45.0%→50.0%)増加し、減少企業が5.0%(40.0%→35.0%)減少したため、D I 値は-20.0ポイントと、前期に比べ5.0ポイント改善した。

来期の見通しでは、増加を予想する企業が15.0%、減少を予想する企業が40.0%となるため、D I 値は-25.0ポイントと、5.0ポイントの悪化を予想している。

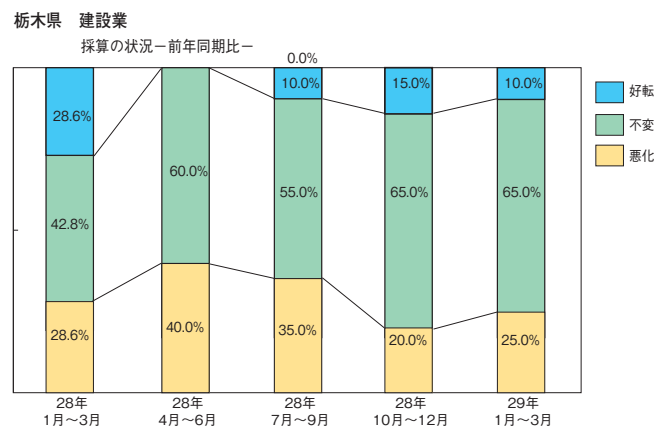


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図10

今期は、好転企業が5.0%(10.0%→15.0%)増加し、悪化企業が15.0%(35.0%→20.0%)減少したため、D I 値は-5.0ポイントとなった。

来期の見通しは、好転とする企業が5.0%(15.0%→10.0%)減少し、悪化企業が5.0%(20.0%→25.0%)増加するため、D I 値は-15.0ポイントと悪化を予想している。

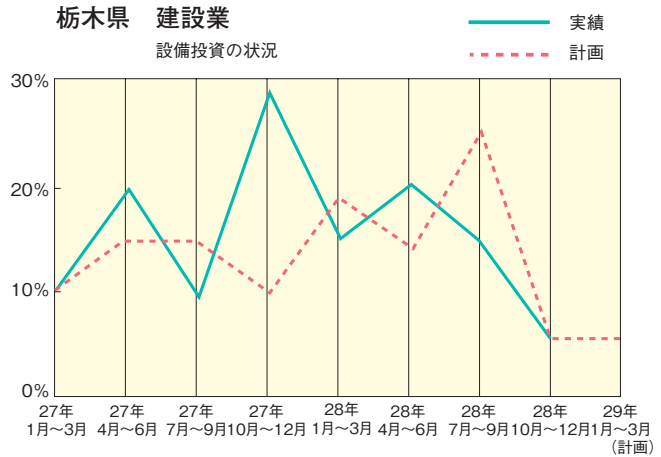


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図11

今期の設備投資の状況は、計画していた企業が5.0%に対して、実績は5.0%と計画どおりの結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期計画と同様の5.0%となっている。

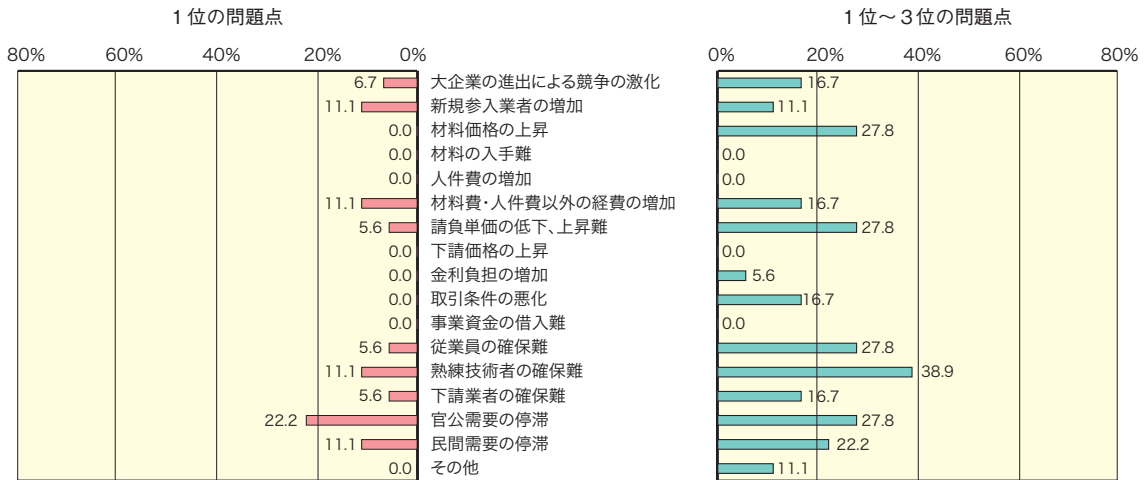


－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図12

栃木県 建設業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



1位の問題点では、「官公需要の停滞」(22.2%)が挙げられ、次いで「新規参入業者の増加」、「材料費・人件費以外の経費の増加」、「熟練技術者の確保難」、「民間需要の停滞」が同率(11.1%)で挙げられた。

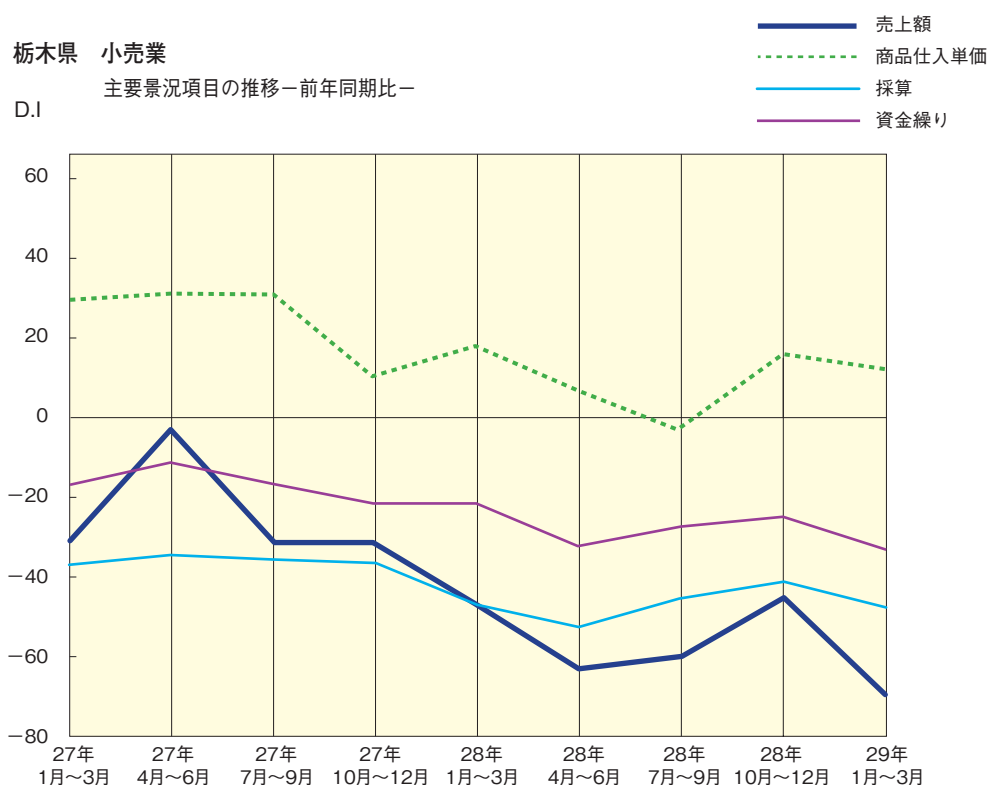
1位～3位の問題点では、「熟練技術者の確保難」(38.9%)を始め、「材料価格の上昇」、「請負単価の低下、上昇難」、「従業員の確保難」、「官公需要の停滞」が同率(27.8%)で挙げられている。

4. 小売業の景況

－主要景況項目の推移－

「小幅な改善を示すも、来期は売上額が大幅な悪化を予想」

小売業 主要項目の推移（前年同期比） 図13



「売上額」が前期比12.9ポイント（-59.0ポイント→-46.1ポイント）、「採算」が前期比5.1ポイント（-46.2ポイント→-41.1ポイント）、「資金繰り」が前期比2.6ポイント（-28.2ポイント→-25.6ポイント）の改善となった。

来期は、「売上額」が25.8ポイントの大幅な悪化を見込み、「採算」、「資金繰り」についても悪化に転じると予想している。

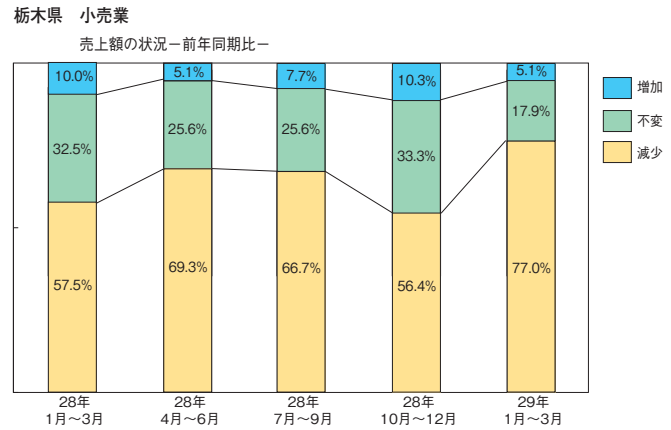
「商品仕入単価」について、今期は18.0ポイント（-2.6ポイント→15.4ポイント）の大幅な上昇となり、来期も高い水準を維持すると予想している。

—売上額—

売上額の状況（前年同期比）図14

今期D I 値の内訳を見ると、売上額が増加したとする企業が10.3%、減少企業が56.4%となった。その為、D I 値は-46.1ポイントとなり、前期より12.9ポイント改善した。

来期の見通しは、売上増加を予想する企業が5.1%に減少し、減少を予想する企業が77.0%と増加するため、D I 値は-71.9ポイントとなり、25.8ポイントの悪化を予想している。

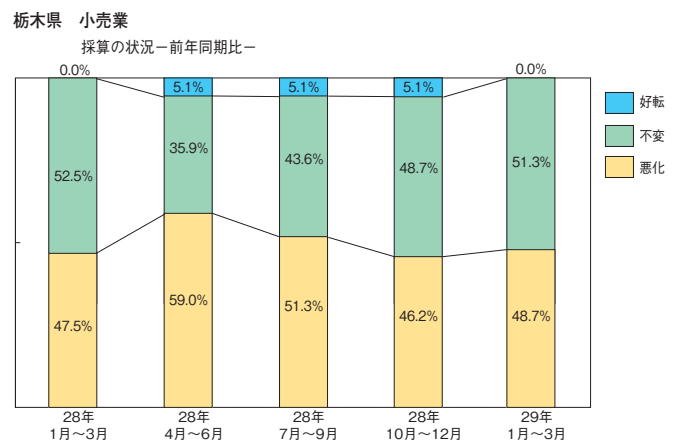


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況（前年同期比）図15

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業が前期と変わらないものの、悪化企業が46.2%となるため、D I 値は-41.1ポイントと、前期（-46.2ポイント）に比べ、5.1ポイントの改善となっている。

来期の見通しは、好転企業が0.0%となり、悪化企業が2.5%増加するため、D I 値は-48.7ポイントと今期より7.6ポイントの悪化を予想している。

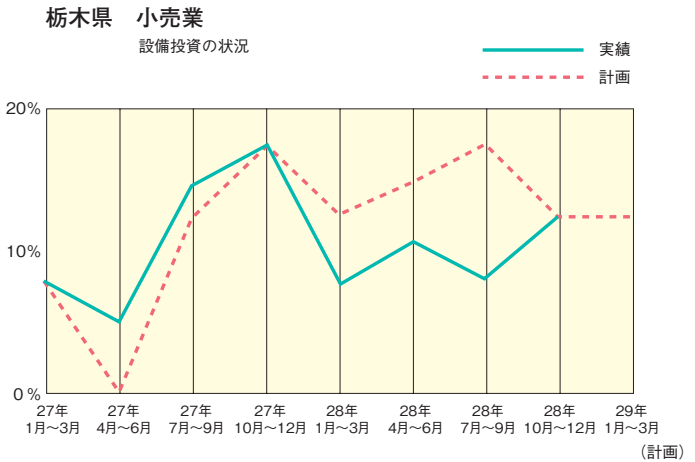


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図16

今期の設備投資の状況は、計画していた企業12.8%に対し、実績は12.8%と、計画どおりの結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期と同様の12.8%となっている。

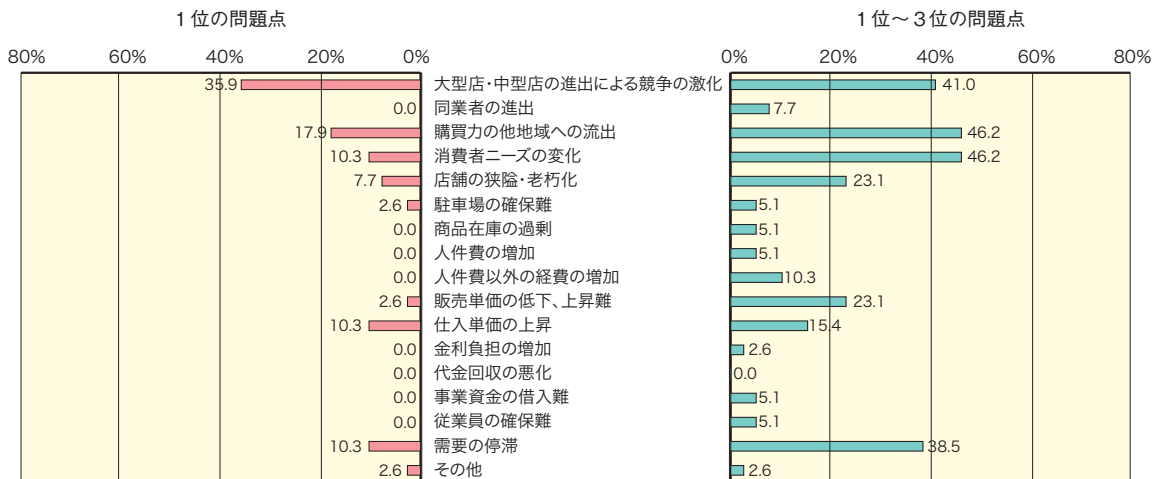


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図17

栃木県 小売業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



1位の問題点では、2期連続で「大型店・中型店の進出による競争の激化」(35.9%)が高い水準を維持し、次いで「購買力の他地域への流出」(17.9%)が挙げられている。

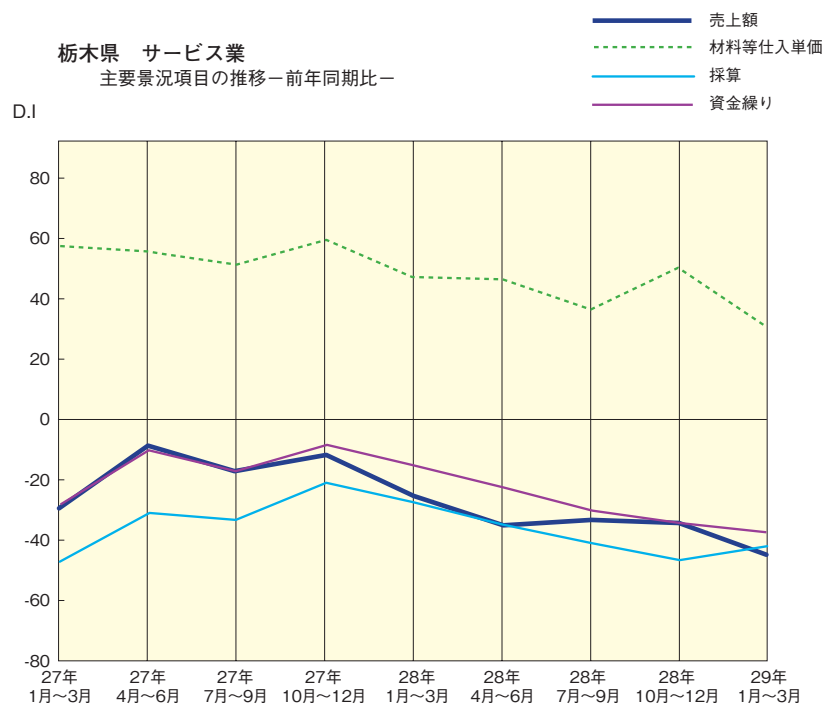
1位～3位の問題点では、上記の問題に加え「消費者ニーズの変化」(46.2%)「需要の停滞」(38.5%)が挙げられている。

5. サービス業の景況

ー主要景況項目の推移ー

「各項目で悪化傾向、来期も厳しい状況を予想」

サービス業 主要項目の推移（前年同期比）図18



今期の「売上額」のD I 値は前期と比べ -1.0° イント (-33.3° イント \rightarrow -34.3° イント) の悪化となり、「採算」は前期と比べ -6.0° イント (-40.6° イント \rightarrow -46.6° イント) 悪化し、「資金繰り」も -4.4° イント (-30.0° イント \rightarrow -34.4° イント) の悪化となった。

「材料等仕入単価」は前期比 12.8° イント (37.3° イント \rightarrow 50.1° イント) の大幅な上昇となった。

来期は、「採算」が 4.9° イントの増加を予想しているが、「売上額」は 9.9° イントの悪化、「資金繰り」は 3.3° イントの悪化を予想し、依然厳しい状況が予想される。

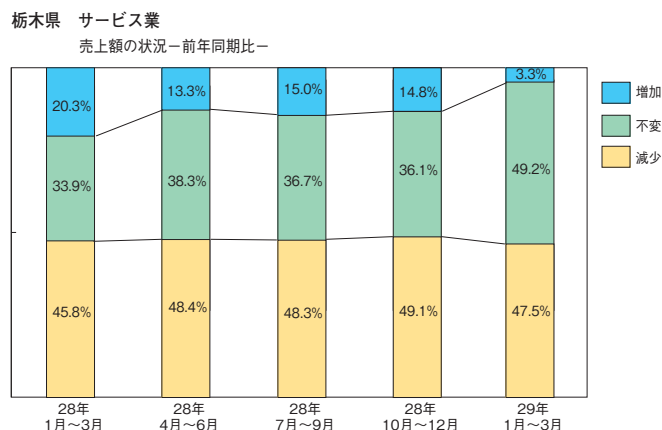
「材料等仕入単価」は、 18.4° イント (50.1° イント \rightarrow 31.7° イント) の大幅な低下を予想している。

—売上額(収入高)—

売上額(収入高)の状況(前年同期比) 図19

今期売上額のD I 値の内訳は、前期と比べ増加企業・減少企業共にほぼ横這いであり、D I 値は前期より1.0ポイントのマイナス(−34.3ポイント)となった。

来期の見通しについては、増加を予想する企業が11.5%減少し、不変を予想する企業が13.1%増加するため、D I 値は−44.2ポイントと、今期より9.9ポイントの悪化を予想している。

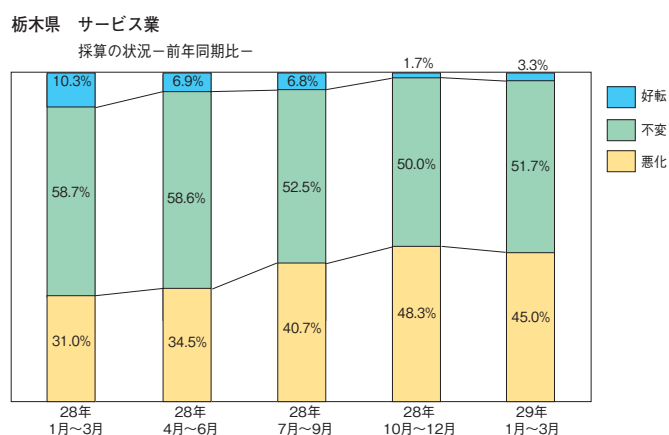


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図20

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業が5.1%減少し、悪化企業が7.6%増加したため、D I 値は、−46.6ポイントとなり、前期に比べ12.7ポイント悪化した。

来期の見通しは、好転を予想する企業が1.6%増加し、悪化を予想する企業が3.3%減少するため、D I 値は−41.7ポイントと、4.9ポイントの改善予想となっている。

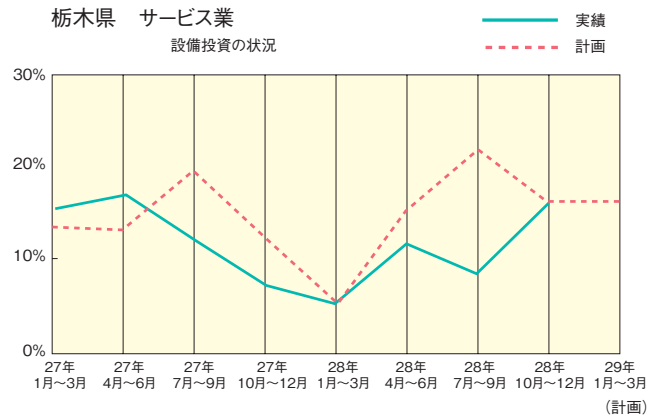


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図21

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合16.7%に対し、実施企業は16.4%となり、ほぼ計画どおりの結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は、前期に比べ0.3% (16.7%→16.4%) の減少となっている。

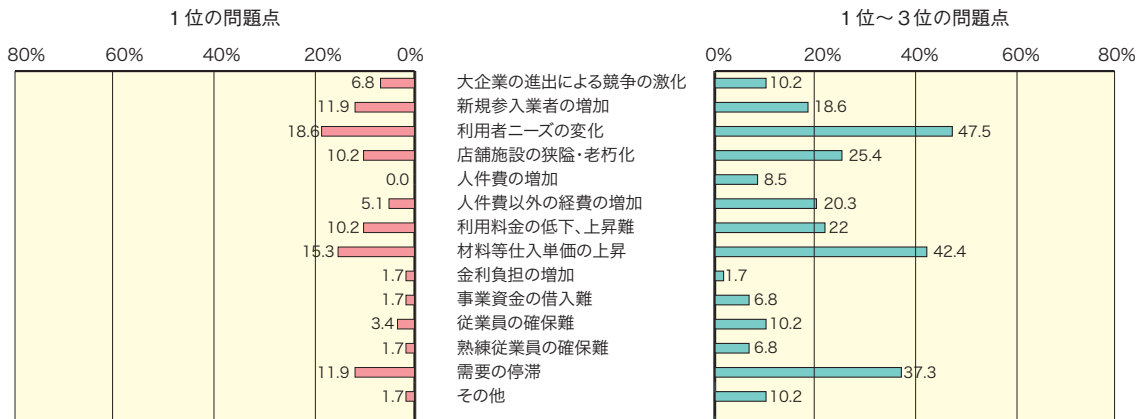


－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図22

栃木県 サービス業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



1位の問題点では、「利用者ニーズの変化」(18.6%) がトップに挙げられ、次いで「材料等仕入単価の上昇」(15.3%)、「新規参入業者の増加」、「需要の停滞」(11.9%)となっている。

1位～3位の問題点でも、上記の問題が高い水準で挙げられ、依然厳しい状態が続いている。

6. 調査対象事業所の内容

〈製造業〉

業種別内訳 30事業所

業 種	事業所数	割合%
食料品製造業	3	10.0
飲料・資料・たばこ製造業	1	3.3
繊維工業	2	6.6
印刷・同関連業	2	6.6
化学工業	1	3.3
プラスチック製品製造業	1	3.3
鉄鋼業	2	6.6
非鉄鋼業	2	6.6
金属製品製造業	3	10.0
はん用機械器具製造業	1	3.3
生産用機械器具製造業	3	10.0
業務用機械器具製造業	1	3.3
電気機械器具製造業	1	3.3
情報通信機械器具製造業	1	3.3
輸送用機械器具製造業	2	6.6
その他の製造業	4	13.3

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	10	33.3
3人以上～5人以下	4	13.3
6人以上～10人以下	7	23.3
11人以上～20人以下	6	20.0
21人以上～50人以下	3	10.0
51人以上～100人以下	0	0.0
101人以上	0	0.0

〈建設業〉

業種別内訳 20事業所

業 種	事業所数	割合%
総合工事業	8	40.0
職別工事業	10	50.0
設備工事業	2	10.0

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	10	50.0
3人以上～5人以下	7	35.0
6人以上～10人以下	1	5.0
11人以上～20人以下	1	5.0
21人以上～50人以下	1	5.0
51人以上～100人以下	0	0.0
100人以上	0	0.0

〈小売業〉

業種別内訳 39事業所

業 種	事業所数	割合%
織物・衣服・身の回り品小売業	6	15.3
飲食料品小売業	18	46.1
自動車・自転車小売業	2	5.1
その他小売業	13	33.3

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	29	74.3
3人以上～5人以下	8	20.5
6人以上～10人以下	1	2.5
11人以上～21人以下	0	0.0
21人以上	0	0.0

〈サービス業〉

業種別内訳 61事業所

業 種	事業所数	割合%
技術サービス業	3	4.9
一般飲食業（一般・遊興）	23	37.7
宿泊業	1	1.6
洗濯・理美容業	20	32.7
自動車整備業	5	8.1
機械等修理業	1	1.6
その他サービス業	8	13.1

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	38	62.2
3人以上～5人以下	13	21.3
6人以上～10人以下	7	11.4
11人以上～21人以下	2	3.2
21人以上	1	1.6

第 150 回中小企業景況調査報告書

平成 28 年 10 月～ 12 月期報告
平成 29 年 1 月～ 3 月期予想

編集：栃木県商工会連合会 顔晴る企業応援課
発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央 3 丁目 1 番 4 号
TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875
印刷所：(株)松井ピ・テ・オ・印刷
